

【行動目標】

環境と調和した農林水産業や観光業をすすめよう

自然環境と最も密接に関係する産業分野である農林水産業や観光業において、環境保全型農業や自然環境の保全に配慮した観光の推進など環境負荷を最小限にする環境配慮に努めましょう。

北海道の基幹産業である農林水産業は、最も直接的に自然環境に関係する産業分野です。また、観光産業などは、豊かな自然環境を資源とする反面、事業活動が環境に与える影響について十分に配慮する必要があります。

このため、環境に与える負荷をできるだけ低減するとともに、自然環境を守り、野生生物との良好な関係づくりに努めるなど、積極的に環境保全に取り組む環境と調和した産業の展開を目指します。

【主な行動】

農業関係

有機質肥料の使用や施肥法の改善により、化学肥料の使用量をできるだけ少なくする
病害虫の効率的な防除法や化学合成農薬以外の防除技術の導入などにより、化学合成農薬の使用量をできるだけ少なくする
「北のクリーン農産物(Yes!clean)表示制度」に登録し、環境への負荷を低減した農産物を生産する
化学肥料や農薬を基本的に使用しない有機農業による農産物の生産を進める
家畜ふん尿等のバイオマスは、肥料化、飼料化、エネルギー化などにより循環利用する
農業用廃プラスチックは回収し、リサイクルする
農業機器・車両等の導入にあたっては、省エネルギー型のものを選定する
農薬以外の病害虫防除法や家畜ふん尿の利活用方法など、環境負荷を低減する技術を研究開発する
野生動物との不要な衝突を防止するため、野生動物を誘引するような規格外品などを野外に放置しない
野生動物の農地への侵入を防止するため、農地と森林との間に電気柵や緩衝地帯を設ける
農作物の受粉用にセイヨウオオマルハナバチを用いる場合は、逃げ出さないようにする。

その他、オフィスや事業所における省エネルギーや省資源の取り組みについては、「行動目標」の【主な行動】をご参照ください。

林業関係

森林認証を取得し、適切な森林管理を行う
育成途上の森林の保育・間伐や、伐採跡地への植栽などにより持続的な森林経営を進める
荒廃した里山の再生や、未立木地や耕作放棄地等の整備を行う
森林整備のための作業道は、効率性や環境負荷を考慮して開設する

切捨て間伐材や林地残材などの未利用資源は、エネルギーとして循環利用する
環境への負荷の少ない機械作業システムを構築する
林業用機器・車両等の導入にあたっては、省エネルギー型のものを選定する
森林づくりや森林バイオマス利活用に係る技術など、環境保全と環境負荷の低減に貢献する技術を研究開発する

その他、オフィスや事業所における省エネルギーや省資源の取り組みについては、「行動目標」の【主な行動】をご参照ください。

漁業関係

ホタテ貝殻や漁具・漁網など、水産系廃棄物の循環利用を進める
種苗放流や資源管理など水産資源の持続的利用に取り組む
環境に配慮した持続的な漁業を証明するMSC（海洋管理協議会）漁業認証など、水産エコラベルの取得を進める
藻場や干潟の維持・拡大を進める
漁業用機器・漁船等の導入にあたっては、省エネルギー型のものを選定する
漁場環境の保全や水産系廃棄物の循環利用に係る技術など、環境保全と環境負荷の低減に貢献する技術を研究開発する

その他、オフィスや事業所における省エネルギーや省資源の取り組みについては、「行動目標」の【主な行動】をご参照ください。

観光関係

施設の設置にあたっては、自然環境の保全や自然景観との調和に配慮する
地域の特性を活かしたグリーンツーリズムやマリンツーリズム、エコツーリズムなど体験型観光を展開する
ツアー参加者への環境保全意識の普及を図る

その他、ホテル・旅館、飲食・販売店、運輸会社等、観光に係る事業活動における省エネルギーや省資源の取り組みについては、「行動目標」の【主な行動】を、自然環境の保全の取組については、「行動目標」の【行動メニュー】及び【取組事例】をご参照ください。